

# 各部会報告資料

- ・こども部会(P2-4)
- ・就労部会(P5-7)
- ・相談支援部会(P8-10)
- ・精神障がい者地域移行支援部会(P11-12)

## こども部会活動報告（令和7年度第3回）

### 1 部会の目的

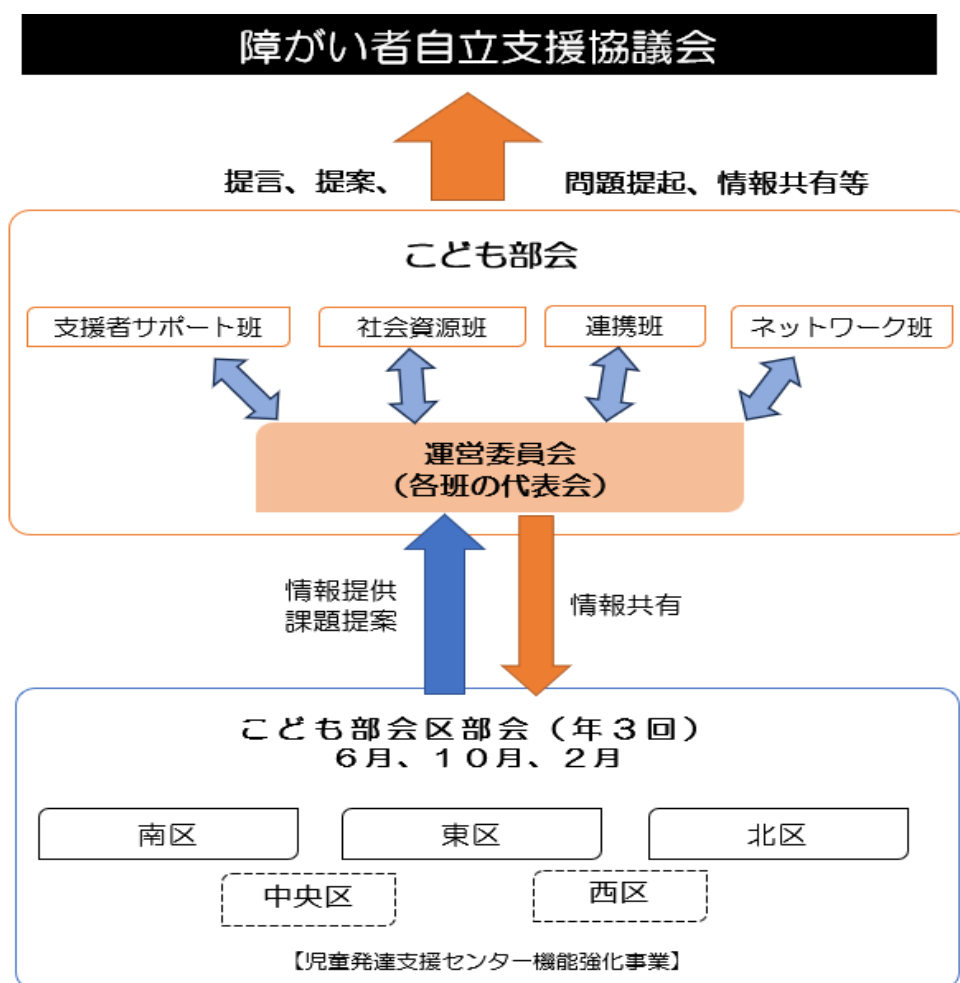
障がい児の支援について、関係機関等が情報交換を行いながらネットワークの構築を図るとともに、「障がい児とその保護者を支援する」という共通理解のもと、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有を図る。

### 2 令和7年度の運営体制

令和6年度からは、児童発達支援センター機能強化事業における取組のひとつであるこども部会区部会（旧：障がい児福祉ネットワーク会議）にて上がった地域課題に応じた班体制にて運営を行う。

また、毎月、部会開催前に運営委員会を開催し、当月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

※運営委員会（第3月曜日）、部会（第4火曜日）



### 3 令和7年度の実績（令和8年1月末時点）

#### (1) 取組内容

共通テーマ：地域で育てる、支える、見守る

##### ① ネットワーク班

（取組予定）

- ①こどもプラグのシステム作成
- ②事業所からの情報収集
- ③プラグへの入力、調整

（取組実績）

- ・こどもプラグに関する熊放会との打ち合わせ
- ・こどもプラグ運用にむけた事業所情報の入力
- ・研修会の打ち合わせ

##### ② 支援者サポート班

（取組予定）

- ①第1回区部会「地域への移行を考える」での意見交換をもとに課題抽出・ニーズ整理
- ②ニーズに対応する関係機関の意見聞き取り、対応案の提示
- ③対応案への取り組み

（取組実績）

- ・第2回区部会で挙げた地域課題の抽出、整理
- ・発達支援に関する関係機関からの意見聞き取り
- ・研修会の打ち合わせ

##### ③ 社会資源班

（取組予定）

- ①成果物（リーフレット・よかよかマップ）の周知・広報
- ②お子さんや保護者の方が必要な情報の収集・集約

（取組実績）

- ・学齢期に焦点をあて、潜在的ニーズや保護者の困り感について意見交換
- ・あがった意見に対する課題整理と取組内容の検討
- ・（仮称）出口支援シート作成のための情報収集

#### ④連携班

(取組予定)

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>①高等学校のアンケート集計と整理</li><li>②子どもたちの成長（発達段階）に応じた情報提供について</li></ul> |
|--|

(取組実績)

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもたちの成長（発達段階）に応じた情報提供について意見集約</li><li>・上記の情報について（仮称）こども資源マップとし、掲載にむけての最終確認</li><li>・次年度取組内容について意見出し</li></ul> |
|---|

#### (2) 研修報告（就労選択支援について）

1月の部会にて、高松大学発達科学部子ども発達学科教授の山口明乙香先生をお招きし、香川県のモデル事業をふまえた就労選択支援の現在地と展望に関する研修会を開催。就労選択支援について熊本市の現状について説明後、講話と全体共有を実施した。講話を受けての質疑応答をおこない、現状を踏まえ、今後具体的にどのような支援やフォローをしていくことが望ましいか全体共有をおこなった。

#### (3) 振り返り

今年度のこども部会は「地域で育てる、支える、見守る」をテーマに、各班で地域課題解決にむけて活動をおこなった。年度当初に計画した取組予定に沿って進められるよう、流動的に班内のメンバー構成を変更し情報収集をおこなうなど、障がい児療育の質の向上をめざし、協議を進めることができた。

一方で、固定した人員配置による意見集約の困難さや班同士の連携不足から活動内容の重複について課題が残った。来年度は運営委員会での意見交換をより活発化させ、人員割り振りや班体制の見直しをおこない、こども部会の活動がより効果的に進めていけるよう取組をおこなっていく。

## 就労部会活動報告（令和7年度第3回）

### 1 部会の目的

『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』を目的として、熊本市における就労支援の課題とニーズを知り、その解決策を考え、よりよい就労支援を目指す。

### 2 令和7年度の取組

#### (1) 運営体制

3つの班構成（企業就労班、ユニバーサル就労班、当事者対話班）で各班作業に取り組んでいる。毎月の部会開催後に運営委員会を開催し、翌月の進め方や各班の進捗管理等について情報共有や意見交換を行う。

#### (2) 運営委員会開催状況

原則、毎月第2水曜日にオンライン（Zoom）開催しており、各班の代表者が集まって、部会の進め方等について意見交換を行っている。

#### (3) 部会の開催実績

原則、毎月第1木曜日に開催しており、ミニ研修等と班活動を実施している。

	内容	参加人数
4月3日（木）	1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会について 2 班活動（年間計画の作成）	55名
5月1日（木）	1 班活動	52名
6月5日（木）	1 班活動	56名
7月3日（木）	1 全体活動（障がい者就労に関する地域課題の抽出・共有） 2 班活動	60名
8月7日（木）	1 ミニ研修 「業務効率化について」 2 班活動	49名
9月4日（木）	1 ミニ研修 「『働く』をあきらめない ～医療的ケア児の未来と就労支援の可能性～」 2 班活動	57名
10月2日（木）	1 全体活動（就労に関する【地域課題】を考えるワールドカフェ） 2 班活動	50名

11月6日(木)	1 ミニ研修 『『アセスメントから夢へ』～模擬多機関連携会議から得たもの～』 2 班活動	46名
12月4日(木)	1 ミニ研修 「はたらくいり口の壁を考える【かべどん会 NEXT】」 2 班活動	44名
1月9日(金)	1 班活動	—
2月5日(木)	就労フェア <概要> 時 間：14：00～16：30 場 所：希望荘大ホール +Zoom (ハイブリット開催) 内 容：①各班の成果発表 ②雇用事例のご紹介 ③グループワーク 「就労における障がい理解と相互理解について」 等	—

#### (4) 各班の取組

##### ①企業就労班

###### <企業就労グループ>

- (目標)・障がい者雇用に関する情報発信 ・これまでの成果物の整理  
・班員の負担軽減、持続可能な取り組み

- ・「しごといく」総集編の作成 ・障がい者雇用に関する情報発信
- ・勉強会の実施

###### <定着支援グループ>

- (目標) 就労部会の取り組みを知ってもらい、企業理解を深める

- ・企業見学会の成功(10月7日(火)ヤマト運輸株式会社 熊本主管支店で実施。8社11名が参加した。)
- ・就労部会の取り組みや企業見学会の周知
- ・就労フェアに向けた企業見学会のまとめ

##### ②ユニバーサル就労班

###### <DXグループ>

- (目標)・事業所に対してのDX化の普及・促進  
・在宅就労やその他の新しい働き方の調査・共有

- ・ DX 化や新しい働き方についての情報収集・共有
- ・ 障がい者雇用事例動画集の追加・刷新
- ・ 就労フェアやユニバーサル就労班の活動のフォローアップ

#### <福祉事業所支援グループ>

(目標) ・利用者支援についての質の向上を図る

- ・ 事業所間のネットワーク形成する
- ・ 熊本市内における福祉事業所等についての情報収集を行う

- ・ 困りごとや課題などの各種情報を共有し、意見交換、ネットワークを構築する
- ・ 就労選択支援事業についての理解を深め、課題や困りごとを共有する
- ・ 熊本市内における福祉事業所等についての情報を集め、DX グループと協同し、データベースの作成に寄与する

#### <就労選択支援事業グループ>

(目標) 熊本市内の就労系障がい福祉サービス事業所のデジタル化基盤整備と、ICT ツールを活用した(模擬)多機関連携会議の実践検証により、利用者主体の最適な就労支援体制の運用革新を目指す

- ・ 就労系障がい福祉サービス事業所のデジタルデータ化と統合基盤の構築
- ・ 模擬ケースを使った多機関連携会議テスト

### ③当事者対話班

(目標) 障がい当事者のはたらく「いりぐち」について考える

- ・ かべどん会(立場を超えて気軽に話せる場づくり)の実施  
(11月1日(土) SOCIALSQUARE 上熊本店の協力のもと実施した。)
- ・ 成果物「ふらっと新聞ミニ」の作成

## 3 今後の予定

- ・ 3月 班活動、年度振り返り

## 相談支援部会活動報告（令和7年度第3回）

### 1 部会の目的

相談支援事業を行う事業者等が情報交換を行い、課題の整理や解決策の検討、社会資源の共有・開発、相談支援事業者のスキルアップに向けた取組等を行うもの。

### 2 令和7年度の取組

#### （1）班体制

運営委員会のメンバーを3つの班（フォローアップ班、地域課題班、ワーキンググループ班）に分け、各班で整理した課題をもとに検討した企画を全体会において実施。

毎月第3木曜日に運営委員会を開催し、次回部会の進め方や今後のスケジュール等について情報共有や意見交換を行う。

#### （2）取組内容

月毎に企画の担当班を割り当てて、部会を進行

##### ① フォローアップ班

- ・ 計画相談支援事業所の連携、相互支援
- ・ 実施プロセスの標準化を図り、計画相談支援の法令順守を意識する。

（取組実績）

- ・ 法令に基づいた計画相談支援業務の確認（ケアプラン作成、担当者会議）、意見交換
- ・ 模擬事例のジェノグラム、エコマップをグループで作成し、各人のアセスメントを共有する。

##### ② 地域課題班

- ・ 地域課題に対するアプローチ、手立てについて検討

（取組実績）

- ・ 3つのグループに分かれて、それぞれのテーマについて地域課題セッションを実施

#### A班 行動援護（強度行動障害）の課題について

- ・ 相談支援専門員向けのアンケートを実施。回答の整理を行っている。その他の意見については、項目ごとに整理している。
- ・ 事業所を増やす手立てはないのかという視点から居宅介護事業所に向けてアンケートを令和8年1月中に実施

#### B班 医療的ケア児者が地域で生活する際の課題の抽出

- ・ 医療的ケア児者支援に不慣れな相談支援専門員が、不安や戸惑いを感じることなく支援に関われることを目的に班活動を行っている。
- ・ 医療的ケア児者への相談支援について、“相談支援専門員向けの「工夫集」”を作成している。内容としては、相談支援専門員の実体験からの支援の工夫や、医療的ケア児者支援に関する便利な情報・サイト集を整理している。

C班 地域に就労体験の場を確保するためにできること

- ・ 関係団体にヒアリングを行い、実情を共有し内容を検討していく。
- ・ 就労部会長及び熊本障害者就業・生活支援センター縁と意見交換

③ ワーキンググループ班

- ・ 計画相談業務の見直しや確認
- ・ 計画相談様式の現状確認

(取組実績)

- ・ 計画相談支援事業所の変更に伴う引継ぎ方法、熊本市転入出時の対応について確認
- ・ 児童期の支援: 児童発達支援→放課後等デイサービスへの切り替えについて確認
- ・ 介護保険サービスの切り替えの流れについて確認
- ・ サービス等利用計画・障がい児支援利用計画様式(熊本市 Ver)の見直しに係る現状確認のためのアンケートを作成・実施(令和8年1月中)

【部会の実施内容】

	部会内容等	場所
5月15日	① 令和7年度熊本市自立支援協議会相談支援部会の活動について ② インフォメーション ③ 班活動・全体共有	北部公民館 ホール
6月12日	① インフォメーション ② 班活動・全体共有	西部公民館 ホール
7月10日	① インフォメーション ② 研修「虐待防止について」 ③ 班活動・全体共有	東部公民館 ホール
8月14日	① インフォメーション ② 10月事例検討会についての説明 ③ 班活動・全体共有	託麻公民館 ホール
9月11日	① インフォメーション ② 研修「就労選択支援について」 ③ 班活動・全体共有	東部公民館 ホール
10月9日	① インフォメーション ② 事例検討	東部公民館・ 北部公民館 ホール
11月13日	① インフォメーション ② 班活動	希望荘・北部 公民館ホール

12月16日	① インフォメーション ② 班活動	託麻公民館 ホール
1月16日	① インフォメーション ② 研修「事例検討振り返り」 ③ 座談会	

※部 会 : 原則毎月第2木曜日15時～17時

※運営会議 : 原則毎月第3木曜日13時～14時半

(3) 今後の予定

2月 班活動

3月 班活動、年度振り返り

## 精神障がい者地域移行支援部会活動報告（令和7年度第3回）

### 1 部会の目的

「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念に基づき、精神障がい者の地域移行に必要な地域体制の整備を図るとともに、地域の関係者が連携して退院に向けた支援を行うことにより、精神障がい者が地域で安心して生活することができるよう地域移行及び自立を推進することを目的とする。

### 2 令和7年度の実施状況

#### ① 運営体制

精神障がい者地域移行支援部会を「全体部会」とし年4回開催し、区毎の連絡会を「区部会」と位置づけ、地域（区）の課題抽出、具体的な計画・取り組み、顔の見える連携づくりを目的に年3～4回開催を計画。

その他、コアメンバーによる会議を毎月開催。運営事務局としての役割を目的として事業の年間計画や方針等を決定し全体部会や区部会への働きかけや周知を行っている。

#### ② 取組内容

##### 1、全体部会

6月10日 第1回全体部会開催（出席63名、ZOOM開催）

内容・事業説明、年間計画  
・地域移行支援基礎研修  
・各区部会の報告  
・グループでの意見交換

9月18日 第2回全体部会開催（出席66名、ZOOM開催）

内容・各区部会の報告  
・(研修)熊本市の地域体制支援拠点整備について  
・グループでの意見交換

12月10日 第3回全体部会開催（出席68名、会場：ウエルパルクまもと）

内容・各区部会の報告  
・医療機関訪問についての報告  
・グループでの意見交換

##### 2、区部会

各区3回～4回実施。地域移行支援個別給付の経過報告に加え、各区の課題をもとにした取り組みについて話し合いを行っている。

### 3、コアメンバー会議

- 4月 (出席19名) 区部会報告、全体部会年間計画
- 5月 (出席9名) 6月全体部会検討
- 6月 (出席14名) 6月全体部会振り返り
- 7月 (出席7名) 医療機関訪問について、ピアサポーター活用事業について  
9月全体部会検討
- 8月 (出席5名) 医療機関訪問について、ピアサポーター活用事業について  
9月全体部会検討
- 9月 (出席14名) 9月全体会振り返り
- 10月 (出席8名) 12月全体部会検討
- 11月 (出席7名) 12月全体部会検討  
「熊本市地域移行支援サービス利用マニュアル」アンケート  
実施について
- 12月 (出席16名) 12月全体部会振り返り

### 3 今後の取組予定

#### 1、全体部会

第4回目を2月に予定。

今後も地域移行の普及啓発に向け、働きかけを行っていく。

#### 2、区部会

各区年3～4回の開催を予定。

各区3～4回実施済み。今後開催予定の区部会内においては情報共有を継続しつつ、普及啓発を進めていく。

#### 3、コアメンバー会議

月1回の開催を予定。

- ・全体方針や計画を検討し、区部会と連携しながら事業の促進と浸透を図る。
- ・全体部会の企画調整、運営を行う。